

開催形式

会場・Webの
ハイブリッド形式

対面・Web同時双方向型
オンライン配信



第59回
日本理学療法学会

— 第10回 —

日本呼吸理学療法学会 学術大会

テーマ

呼吸理学療法の新たな展開

— The first step toward the next decade —

2024年

9月7日(土) 8日(日)



会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
新潟市中央区万代島6-1

学術大会長

瀬崎 学 (新潟県立加茂病院)

副学術大会長

堀江 淳 (京都橘大学)

準備委員長

椿 淳裕 (新潟医療福祉大学)

演題募集開始

2024年2月
予定

学術大会
事務局

社会医療法人 下越病院 リハビリテーション課 〒956-0814
新潟勤労者医療協会 新潟県新潟市秋葉区東金沢1459番地1
■ 学術大会事務局長 / 高橋 祐介 ■ E-mail : congress10th@jsrpt.jspt.or.jp

<https://www.niicon.jp/jsrpt2024/>
※本学術大会は、第59回日本理学療法学会大会の1つとして開催されます



大会長基調講演

演者 瀬崎 学（新潟県立加茂病院）

学会シンポジウム

1

「若手研究者への支援 どのように研究を進め・発表するか」

演者 稲垣 武（千葉県立保健医療大学）、對東 俊介（広島大学）、花田 匡利（長崎大学）

学会シンポジウム

2

「呼吸理学療法における教育・管理・運営」

演者 大学教育における現状と課題 田平 一行（畿央大学）
 管理者としての現状と課題 岩田 健太郎（神戸市立医療センター中央市民病院）
 中堅職としての現状と課題 高橋 祐介（下越病院）

学会シンポジウム

3

「呼吸理学療法の多様性 2024」

演者 熱傷患者の呼吸理学療法 久保 貴嗣（JCHO 中京病院）
 PICUにおける呼吸理学療法 熊丸 めぐみ（群馬県立小児医療センター）
 周術期・ERASと呼吸理学療法 井上 順一郎（神戸大学大学院）
 在宅での呼吸理学療法 渡邊 寿彦（ゆみのハートクリニック三鷹）

学会シンポジウム

4

「サルコペニアをめぐる課題」

演者 COPDとサルコペニア 金崎 雅史（東京国際大学）
 サルコペニアとリハ・栄養 宮崎 慎二郎（KKR 高松病院）
 サルコペニア・悪液質の最新知見 岡村 正嗣（シャリテ・ベルリン医科大学）

学会シンポジウム

5

「pro-con: 急性期・ICUにおける運動と休息をどのように考えるか？」

演者 pro: 早期離床を第一に進めるべき 及川 真人（長崎大学）
 con: 休息を第一に考えるべき 飯田 有輝（豊橋創造大学）

JSRPT セッション

1

「ガイドライン関連」

演者 神津 玲（長崎大学）

JSRPT セッション

2

「レジストリ関連」

演者 関川 清一（広島大学）

教育講演

1

COPD

講師 村川 勇一（さぬき市民病院）

教育講演

5

終末期・ACP

講師 中田 隆文（マリオス小林クリニック）

教育講演

2

間質性肺疾患

講師 渡邊 文子（公立陶生病院）

教育講演

6

論文のコツ

講師 金子 秀雄（国際医療福祉大学）

教育講演

3

周術期

講師 大島 洋平（京都大学医学部付属病院）

教育講演

7

人工呼吸管理

講師 笹沼 直樹（兵庫医科大学病院）

教育講演

4

症例報告の書き方

講師 山科 吉弘（藍野大学）

教育講演

8

スライド作成のetc

講師 椿 淳裕（新潟医療福祉大学）